



樋渡 邦美

## 来春の市長選挙における 市長自身の心は

**市長**

慎重に考えたいし、まだ結論が出ていない状況

**樋渡** 初代市長としてこれまでの行政運営と未来に向けた小城市の課題は。

**市長** これまでの行政運営として、①4つの庁舎

の一本化とその跡地活用。②教育環境の充実、施設整備も大事だが、特に中身の充実について図る。③小城市の中心市街地の活性化整備。④下

況の変化にどう行政、地域が対応、対処していくかが大きな課題と思う。

**樋渡** 前回選挙での6つの公約の展開は。

**市長** ①市民との対話・語る会の充実。

農林水産の振興、企業誘致、市営住宅の整備等。

今後の課題

としては①少子・高齢化に伴う地域の維持。②ひとり親家庭の増による子供の貧困対策。

③核家族の中での空き家問題等が社会状

況等が社会状

⑥企業誘致へ全力投球。これらについてはしっかりと取り組み、展開をしてきた。



松尾 義幸

## 小中学校にエアコン設置 の考えは

**教育長**

一步踏み込んでエアコン設置を検討していく

**松尾** ①教育委員会は、「扇風機でいく」と決めているが、猛暑が続く中で再検討が必要では。

②県内自治体の小中学校普通教室のエアコン設置状況が、平成25年12月、私の一般質問時とどう変化しているか。

**教育長** ①やっぱりこのまま扇風機でいいのかと、意見を交わしながら現在に至っている。

②1市3町で設置されていた。それが4市3町増え、現在エアコン設置完了は、5市6町。

**松尾** 小・中学校の普通教室が117ある。幾らの予算が必要か。

**教育長** 1教室に2台設置した場合、約2億円が必

日、桜岡小で19日続いて

いるが。

**教育長** 扇風機を設置して5年経過した今、急激な環境の変化の中で、もう一步踏み込んで、教育委員会と協議を進めていく。

要。3分の1の補助があり、補助以外の75%に地方債が充当できる。

**市長** そろそろ改善を私自身思っている。教育委員会と協議を進めていく。

**松尾** 平成26年度室温調査が行われ、9月、30度以上の日数が砥川小で10



▲扇風機が並ぶ、普通教室（牛津中）



▲行政運営をつかさどる小城市役所

水道の整備、農林水産の振興、企業誘致、市営住宅の整備等。

②スポーツ伝統文化による人づくり街づくり。③オリジナリティーあふれる商店街づくり。④6次産業を推進したスローライフ。⑤スマートICで地域の資源みがき。⑥企業誘致へ全力投球。これらについてはしっかりと取り組み、展開をしてきた。



永瀨 和正

## 第2次総合計画での 商・工業の振興策は

市長

優良企業の立地促進、  
商店街の活性化に取り組む

**永瀨** ①まちづくりにつ

いての市民アンケートの1位は、市内で働く職場が少ない。力を入れるべき施策は商工業の振興とあわせて就労の場の確保。計画の中では具体的な施策が見えない。市民ニーズにどう応えるか。②商工業の実態は表のとおり衰退している。市民が市内に就労の場を求めているのは明白であり、どう取り組むか。

**永瀨** 小城虫の郷ファクトリーパークの工場団地

約2・9haは完売したが、総事業費約3億4千万円に対して土地売却収入は約2億1千2百万円。不足の約1億2千8百万円は何か。分譲地内の経費はすべて分譲価格に算入していないのか。

**産業部長** 差額は、団地

内道路や水道設備、井戸水調査などの費用である。

**永瀨** 国道34号線に接す

る牛津町乙柳地区の産業用地可能性調査結果をどう生かすか。

**市長** 個別的な案件とし

て、土地の紹介等を行っ

▼市内の商工業の推移

調査年	商 業			工 業			
	平成14年	平成26年	比 較	調査年	平成14年	平成26年	比 較
商店数	店 550	店 348	減 202	事業所数	事業所 81	事業所 56	減 25
従業員数	人 3,229	人 2,347	減 882	従業者数	人 1,709	人 1,418	減 291
商品販売額	億円 715	億円 579	減 136	製造品出荷額	億円 341	億円 269	減 72

資料：商・工業統計調査

ていきたい。



諸泉 定次

## 小城市空家等対策協議会 の動向は

市長

10月に初会議での準備を進めている

**諸泉** 昨年12月議会で小

城市空家条例が可決され、4月より10名の委員での小城市空家等対策協議会が設置されたが、どのような動向か。

また、危険家屋とされる特定空家の対策と、国・県の不備な面の要請はされているか。

把握と対策計画の策定と

実施、個別案件の措置等の協議を想定している。現在、委託業者に発注し9月より現地調査を開始した。

特定空き家の処理費用

は国の支援制度はある

が、市の負担もあり制度の不備で解決できる状況になく、市長会で要望している。

**諸泉** 消防署の2年毎の調査では平成27年度では427件と2年前より53件減った。原因は。

**建設部長** 市では水道閉

栓データで、2018棟を空家として把握しており、現在調査中である。

### その他の質問

○都市計画と行政区の区

割

○英語教育の義務化と多忙化対策

予定している。10月に初会議を空き家の状況



▲危険家屋とされる特定空き家



北島 文孝

### 市長の自己評価と 反省点は

市長

合併して財政的に強化され  
色々事業ができた

**北島** 具体的な事業と反省点は。

**市長** ①教育環境のソフト、ハードを含めた整備ができた。

②庁舎の一本化に伴いそ

れぞれの跡地活用をすることができた。

③小城市には核となる中心市街地が2つあるが、空洞化対策として、一つは国の事業を活用して終

え、もう一つも課題はあ



▲運動公園跡地の現況

るが取り組むべきと思う。反省点については市内には保健福祉センターが4つあるが人口4万6千人という規模を考えると、建設して日が浅かったため一本化できなかったこと。また下水道事業につ

いては整備後の接続が高齢化で、空き家等の問題点もあり、もう少しコンパクトにできなかったのが反省点の一つである。

**北島** 運動公園跡地は中止して十数年がたち現在も一部を除けば活用のめどが立っていない。また、山の辺の道も現在通れる状況ではないが、今後の活用は。

**市長** 中止後、自然環境を残した利活用を図ったが現在に至っている。今後は、保全管理を続けながら福祉施設等の民間活用を図っていく。山の辺の道は防犯的に問題もあり検討する。

るが取り組むべきと思う。反省点については市内には保健福祉センターが4つあるが人口4万6千人という規模を考えると、建設して日が浅かったため一本化できなかったこと。また下水道事業につ



市丸 典夫

### 市政運営の中で 残された課題

市長

跡地活用は常に考慮しながら  
検討をしていく

**市丸** 3期12年の市政運営の中で残された課題について。運動公園跡地は大きな課題である。土地

開発基金の買い戻しは計画的に進めるべきでは。平成26年、27年は買い戻しがされていない。土地

開発基金のままでは、跡地は運動公園以外に活用ができない。

**市長** 跡地は面積が約13haある。平成25年までに約7ha分を買い戻している。平成26年度からは財政健全化を優先する考えに立ち、

中断している。財政見通しの中で年度末に余剰金などが見込める機会があった場

合、買い戻しを考えたい。

**市丸** スマートインターチェンジの用地買収は済んでいるのか。

**建設部長** 小城市で買収する面積ベースで88%、登記名義人ベースで96%が完了している。

**市丸** 問題はスマートインターチェンジ南の県道拡幅に反対されている方々がおられることだ。どう対応されるのか。

**建設部長** 佐賀県と協力しながら関係者のご理解がいただけるよう努力していきたい。



▲どうなる運動公園跡地の利活用

るが取り組むべきと思う。反省点については市内には保健福祉センターが4つあるが人口4万6千人という規模を考えると、建設して日が浅かったため一本化できなかったこと。また下水道事業につ

るが取り組むべきと思う。反省点については市内には保健福祉センターが4つあるが人口4万6千人という規模を考えると、建設して日が浅かったため一本化できなかったこと。また下水道事業につ



西 正博

健(検)診のより良い  
あり方についての考えは

市長

受診率向上による市民健康保  
持と早期発見だと考える

西 現在実施されてい  
る健康診断や検診につい  
て、よい部分・必要な項  
目については温存しなが  
らも、改善も含め、新し  
い項目を付加する検討  
は、小城市としての利益  
のためにも、市民健康の  
維持や更なる向上のため  
にもよりよい方向性を見  
出すことができると考え  
る。

さらに精度向上を図れる  
と思う。また、自己診断  
用に特殊なグローブを配  
布している自治体もある。  
子宮がん検診には細胞  
診で判定されているが、  
同じ検体からヒトパピ  
ローマウイルス  
ス検査の併用  
により、早期  
に発見できる  
と考える。

福祉部長 県内他市町の  
動向や医師会の考えに基  
づき、まずは胃がん検診  
に、胃カメラによる検査  
を選択できるようにする。

聴力検査・聞こえの検  
査の導入により、聴力の  
低下を早期に発見でき、  
認知症予防や医療費の節  
約のために効果があると  
も言われる。

また、胃の  
中に存在して  
いるピロリ菌  
の抗原抗体を  
検査するた  
め、健診メ  
ニューに追加  
したらと、以  
前から提言し  
ているが。

乳がん検診で行われる  
マンモグラフィーでの判  
定に、超音波による工  
コー検査の導入により、



深川 高志

市街地の整備と  
体制の確立の現状

市長

今年度は牛津市街地活性化  
基本構想の策定中

深川 平成28年度までの  
第一次総合計画における  
重点施策と位置づけられ  
た市街地の整備について  
のまちづくり体制は。ま  
た、計画的整備及び地域  
拠点の形成についての現  
状と今後の計画はどう  
なっているのか。

市街地におけるまちづ  
くり体制の確立について  
は、今年の5月20日に牛  
津拠点地区の市街地活性  
化協議会を設立してお  
り、市街地の  
活性化にむけ  
た構想につ  
いてワーク  
シヨップ等を  
開催している。  
地域拠点の  
形成につい  
て、三日月地  
区について  
は、本庁方式  
で市の中心的  
機能が集中し  
ており、新駅  
の要望もきて  
いるが、なか  
なか厳しい状  
況である。牛津駅の南口  
の問題や三日月の新駅に  
ついての要望は、毎年J  
Rのほうに要望書を出し  
ている。

市長 平成19年から23年  
までは芦刈地区の都市再  
生整備計画に基づいて、  
公園整備や道路改良、地  
域交流センターの整備改  
善、平成22年度から27年  
度までは小城市中心市街地  
都市再生整備計画による  
取り組みを推進してきた。  
今年度は、牛津拠点地  
区市街地活性化基本構想  
の策定に取り組んでいる。



▲牛津駅南の現状と建設中の小城市営住宅



富永 正樹

地域振興につながる  
観光の発信は

市長

中部広域内観光のパッケージ  
商品の確立も一つの手

**富永** 小城市の観光と地域振興という観点で、どのようなスタンスの考えか。

**市長** 観光の質が、物を見るだけでなく、体験型や滞在型に変化している。中部広域エリアでの観光商品のパッケージを確立するのも一つの手ではと考える。

なり指導はされたのか。

されるか。

**文化課長** この墓については江戸時代に造られた

**商工観光課長** 地域の誇りである貴重な文化財を、文化課と連携を図りながら活用することで検討していきたい。

供養墓であることと、余り現状を変えないで、文化財という価値を損なわず現状を変えない最低限の整備をしたらどうかの助言をした。

**富永** 市民

の事業の一環で、九州千葉氏の祖・千葉宗胤夫妻の供養墓が折角整備されたのに、敷地一角に土中に埋まったままの石造の門柱を掘りおこさなかったのは、画龍点睛を欠くもので惜しまれる。助言



▲石の門柱を土中に残したまま整備された宗胤夫妻の墓



中島 正樹

定住・移住対策は十分か。

市長

更なる研究を重ねていく。

**中島** 市の定住・移住対策のこれまでににおける人口増の成果と課題は。

**市長** 平成24年度から26年度までで149件3,998万円の奨励金を交付している。一定の成果はあがったと思うが、人口の自然減や社会減が著しく、現行の事業による増加は限界があるというふうに思う。今後は、社会資本の整備や住環境の整備、また教育環境の整備に加えて、雇用面や子育て支援などにおいても魅力ある定住対策を行うべきと思う。

**中島** 市内行政区に顕著に人口減、世帯減が見られる地区は。

**課長** 10年前と比べて10%以上人口減少している地区は、小城45地区、三日月14地区、牛津12地区、芦刈19地区。

**中島** そういった地区にも目を向けた施策を講じていくべきだと考えるが。

**課長** 現在のままでは一律に解決を図るというのは難しいという認識を持っている。

その他の質問

○下水道事業の接続率に

申請月	奨励金額	市外→市内		市内→市内		計	
		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
H24計	11,640,000	39世帯	120人	14世帯	41人	53世帯	161人
H25計	18,250,000	48世帯	155人	17世帯	50人	65世帯	205人
H26計	10,090,000	35世帯	109人	3世帯	32人	38世帯	141人
H24~26合計	39,980,000	122世帯	384人	34世帯	123人	156世帯	507人

▲定住奨励金および三世帯同居奨励金の実績



松並 陽一

今後の一般会計の  
見通しは

市長  
歳入も厳しくなるため、  
歳出を精査していく

**松並** 一般会計額が220億円にも膨らむ要因は。

**総務部長** 合併してから

現在まで、学校や庁舎の建設などのハード整備があった一方で、「強い農業づくり交付金事業」など、市の一般会計を經由してそのまま出ていく予算も多い。

**松並** 26年3月に示された「新市建設計画の変更」

では歳出額は28年度183億円、29年度189億円となっているが、現実と乖離している理由は。

**総務部長** 地方創生の取

り組みやふるさと納税など、国の制度や考え方が

大きく変わったことなどが理由である。

子どものスマホ利用

**松並** 市内の子どもの所持の状況は。

**教育長** 28年4月の調査では、小学校6年生の65%、中学3年生の82%が所持しており、年々増加している。

**松並** 子どものスマホの過度な利用は成長と学力に悪影響があると思われるが、条例などで規制する考えは。

**教育長** 今すぐには難し

(単位：億円)

	平成17年度	19年度	21年度	23年度	25年度	27年度
民生費	38.4	39.5	39.5	48.5	53.8	58.6
衛生費	15.1	15.1	18.8	20.7	21.4	21.9
土木費	10.9	7.7	9.9	14.1	14.9	18.9
公債費 (借金返済)	15.5	20.3	21.5	29.5	25.1	29.4
一般会計合計	153.7	158.3	183.4	201.8	208.7	221.6

▲増額傾向にある一般会計歳出の主な内容

いが、検討していく必要がある。



香月チエミ

部活の教師の  
多忙化改善の取り組みは

教育長  
国の方向性を踏まえ  
よりよい部活動に取り組む

- 香月**
- ① 学校教育における部活動の位置付けは。
  - ② 生徒の状況は。
  - ③ 教師の状況は。
  - ④ 今後の方向性は。

**教育長**

① 教育課程外(教科ではない)だが、学校教育の一環として重要な活動と位置付けられている。しかし、中身はあくまでも生徒の自主的、自発的な活動であるとする二面性がある。

② 生徒の加入率は約76%。休養日は原則として、土・日曜日のいずれか。また、毎週月曜日、第3日曜日を設定し運用している。

③ 課題として、平日や休日の指導で多忙感を感じている状況にはある。複数顧問制をとっており、外部指導者に協力を得ている学校が2校、7名。教職員の特殊勤務手当として、

④ 本年6月の文科省通達では、「適正・適切な休養を伴わない行き過ぎた活動は、教員、生徒ともに様々な無理や弊害を生む」とされた。また、16年ぶりに部活の全国実態調査を実施し、それ

をもとに平成29年度にガイドラインが作成される。部活動の持つメリットを最大限生かすよう取り組む。

その他の質問

○住宅の耐震化の取り組みなど



▲部活動で汗を流す(三日月中)



▲小学校での実技による交通安全教室の様子

内容①自他の命を守る交通安全の推進②防災対応能力の向上を図る③防災安全の推進④不審者対応などの防犯。熱中症予防、学校での事故防止等生活安全の推進などの方針を策定し、各学校で取り組んでいる。特に交通

- 市長による通学路の視察について
- 総合戦略の地域を磨く小城づくりについて
- 6月大雨の被害と復旧

その他の質問

**学校教育課長** 保護者が購入すべきものと考えている。

**光岡** ヘルメット購入代金の補助の考えは。



光岡 実

子ども達の安全対策は万全か

実効ある学校安全の推進を行っている

**光岡** 子ども達の安全対策の取り組みは。

ニユアル、安全マップの作成について、実効ある学校安全の推進を行っている。

安全教育については、特別活動の時間を使って、体験を通して学ぶようにしている。さらに、通学路についても、小城市通学路安全推進会議で審議され、対応している。



江島佐知子

時代を見据えた観光行政の推進を

観光協会や周辺市町との連携で推進する

**江島** 小城市の観光について

- ①現状と課題は。
- ②観光協会の役割と剰余金について。
- ③観光プラン策定についての考え方。

ているが、宿泊施設が少なく短期滞在になっっている。佐賀空港を利用したアジアからの団体客や小規模の観光客に向けて、中部広域連合域内の連携やネット関係の活用が必要と考えている。

千万円の剰余金が出るが、観光振興のために役立てるよう協議をしている。

**市長** ①季節ごとのイベントや食、史跡等へ年間約46万人の観光客が訪れる

②観光振興について民間感覚を活かした取り組みや協議がされている。

**江島** 立地適正化計画で目指す小城市の未来像と「アイル資源磨き構想」との関係は。

小城市の未来像とは



▶毎年約2万人の人出で賑わう清水竹灯り

外国人観光客に向けたDVなども作成している。ふるさと納税の業務で、法人税等を除けば約8

**市長** コンパクトシティ・プラス・ネットワークと健康をテーマにしたまちづくりの整合性を持って取り組む。